

日本福祉大学大学院

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程

2026 年度 第 1 期入学試験問題

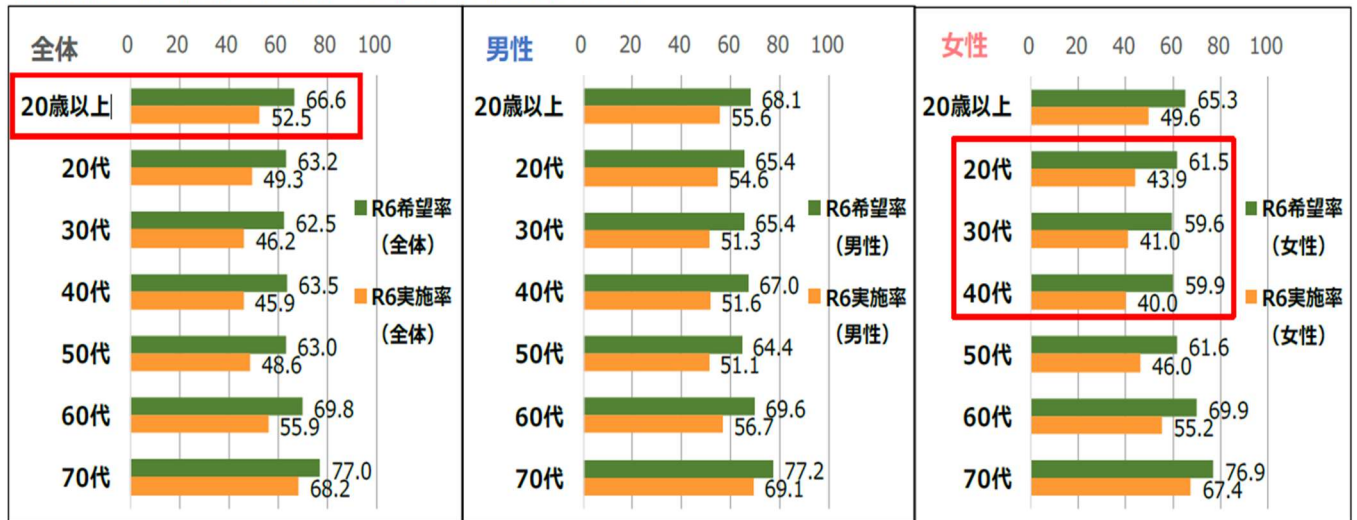
【小論文（AO 入試・一般入試）】

問 1 は共通設問です。受験者全員が解答してください。

問 2 はスポーツ科学領域に関する選択設問です。自分が解答する領域を選び、選んだ問題のみ解答してください。また、選んだ領域について、解答用紙の該当する領域にチェックしてください。

問1 共通設問

年代別スポーツ実施希望率とスポーツ実施率（全体、男性、女性）



上の図は令和6年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果の一部を示している。希望率とは運動・スポーツをやりたいと思っている人の割合、実施率は実際に週1回以上スポーツを実施している人の割合である。①線で囲んである点を含めこの調査結果の特徴を答えなさい。②そうした結果となった要因を推測して述べよ。

## 問2 スポーツ科学領域に関する選択設問

自分が解答する領域を選び、選んだ問題のみ解答してください。

領域名	人文社会科学領域
-----	----------

この事件の問題点は何かを指摘し、スポーツにおけるフェアプレーの意義について、あなたの考えを述べなさい。

全国高校総体＝インターハイ出場をかけたフェンシングの岐阜県予選で、同じ高校の選手どうしの試合で一方の選手が関係者から依頼されてわざと負けたことが分かりました。対戦した2人に、ともに出場権を獲得させるためとみられ、岐阜県高校体育連盟は「不正があった」として試合を無効とし、近く再試合が行われることになりました。

岐阜県高体連によりますと今年10日、インターハイの岐阜県予選、フェンシング女子エペ個人の最終試合で、羽島北高校の選手どうしが対戦しそれまで4勝だった選手が2勝2敗だった選手に敗れました。

この結果、敗れた選手は4勝1敗で単独1位、勝った選手は3勝2敗となり、暫定2位だった他校の選手をポイント差で抑え、対戦した同じ高校の2人がインターハイに出場できる上位2位以内となりました。

しかし、他校の指導者などが不審な点があると指摘し、県高体連が聞き取りをしたところ、敗れた選手が関係者から依頼されてわざと負けていたことが分かったということです。

誰が依頼したのかや、依頼したいきさつなどは明らかにされていません。

岐阜県高体連では「不正があった」としてこの試合を無効とし、近く再試合が行われることになりました。

対戦した2人の選手の羽島北高校は強豪として知られ、高校では「主催者の決定に従いたい」としています。

フェンシング インターハイ予選でわざと負け試合無効に 岐阜 2025年5月13日 17時33分  
(NHK NEWS WEB <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250513/k10014804601000.html>)

領域名	自然科学領域
-----	--------

下記はパリオリンピック女子ボクシングの記事である、トランスジェンダーとは何か、さらにスポーツにおけるトランスジェンダーはなぜ、問題になるか考察をなさい。

ケリフは性別適格性検査に合格しなかったため昨年の世界選手権で失格となった過去があり、パリ五輪への出場が賛否を呼んでいる。カリニとケリフは数回パンチを交わしただけで、カリニは立ち去って試合を放棄。棄権する直前にはパンチでずれたヘッドギアを締め直す場面もあった。カリニは判定が下された後、ケリフと握手せずリングにひざまずいて涙を見せた。AP通信によると、カリニは「最初のパンチの後、鼻に激痛が走ったため棄権した。やりたくなかったし、試合を終わらせることはできなかったからです」と語った。

カリニはさらに、ケリフが試合に出場できるかどうかを決める資格はないが、彼女と戦うことには問題はないと述べた。「私は判断を下すためにここにいるわけではない」と語り、「それが正しいか正しくないかは、私が決めることはありません。私はただボクサーとして自分の仕事をしただけです。リングに上がり、戦ったのです。私は頭を高く上げて、最後の1キロを完走できなかったことに心を痛めながらも戦ったのです」とコメントした。ケリフは2度五輪に出場しており、東京五輪では何の異論も起きなかった。IOCは、2016年リオデジャネイロ五輪で適用された性別に関する規則に基づいてボクサーの出場資格を決定したとしている。【2025年8月3日中日スポーツ掲載】